

令和4年度事業概況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

特定非営利活動法人 泉里会

昨年に続き、コロナ感染拡大の中で、当施設でも感染防止の為、手洗い、うがい、社内消毒、室内入り口にビニールを張るなど、感染拡大防止に努めたが、すべて外部からの感染で、職員3名、入居者2名が感染した。

入居者2名は指定されたホテルに1週間滞在を余儀なくされ、ホテルに行く交通手段は保健所で手配してくれたが、帰りの足は当職員が迎えに行った。

一方職員の感染は家族からの感染で、自宅や指定のホテルで療養したりなどして、外部との接触を遮断する過ごし方をした。また感染者にはならなかったが、濃厚接触者となった人については、出勤停止を命じ、自宅で経過観察した後、勤務についてもらった。

この間、人員配置は非常に困難を強いられ、他の職員に多大な協力を貰いその場を凌いだ。

また、入居者に感染防止の為、使い捨てができる紙皿、紙どんぶり等で対応し、使い捨てのプラスチックの手袋等も買増しもした。県より新型コロナウイルス感染症に係るサービス継続支援事業費補助金が出され、4万円受け取った。

共同生活援助は、入居者の1人が11月末で退所し、12月初旬で新たな入居者があった為、毎月14名を確保し、前期より240万円ほど売上増加し、ショートに関しては、まだコロナ拡大防止の影響を考慮して、利用を制限した事もあり、121万円の売上減少となり、ロングショートは1名に留まった。

相談支援関係は、人数も成人、児童を含め55人となり延べ172人相談支援を行った。気仙沼市、南三陸町はもとより、登米市(2人)、岩手県一関市(3人)と支援を拡大している。96万円の売上増加となった。

昨年まで行っていた、日中一時と自立生活支援事業は該当者がなく、売上はなかった。

一方これまで多大なる寄付をいただいた企業グループは、震災から10年も経たとのことで停止し、ある企業からは減額をしながらも引続き寄付を頂いたが、件数も金額も大幅な減少となった。3件で26万円となり、前期の半額となった。

人件費(給与、賞与、法定福利費、福利厚生費、旅費交通費)は臨時処遇改善手当、ベースアップ処遇改善手当の支給は国からの要請もあり、職員の待遇改善の為に増額となつてはいる。

その金額は補助金として雑収入項目で処理している。

減価償却費は、全額償却をしており、AEDを両ホームに1台設置し、賃貸料として計上している。

地代家賃は、館岡の土地及び駐車場2台分と猪の鼻の小宮山印刷(株)との別れ道の所の看板の地代である

食材費、電気代、水道代など前年度と比較して非常に高騰しており、食材に関しては、職員はじめ関係者に野菜などの提供を頂き食費代節減に努めた。

また、朝、夕の食事準備で支援員、お世話人の負担を軽減するために、ケイタリ

ングを導入し、月曜日から金曜日までケイタリングを利用している。

水道光熱費に関しては、余分な照明や冷暖房の温度を適温にするなど電気代の節約をした。灯油代、水道代も一斉に値上げされ、前年比675千円増加した。

気仙沼市及び宮城県に障害者施設原油価格高騰対策事業補助金を申請し、気仙沼市からは245千円、県からは365千円受領した。

車両関係に関してもガソリン代の高騰と車検が3台あった為25万円増加した。

雑費は、前期あった土地調査費等がなくなったので、117万円減少した。

雑収入は、県からの助成及び補助金で、37万円増加したが、前期県から雇用関係助成金でもらった100万円はなくなった。

また、前期特別利益で、固定資産受贈益287万円も、当期はない。